

清和会自治会

会長 松井敏晴



清和会は白子2丁目川越街道から白子川上流に沿って子安橋の少し先までの区域です。

バイパスを挟んで二分の自治会ですが、会員の親睦は厚く、会の行事には多くの参加があります。

清和会自治会の発足は、半世紀を超える活動歴史があり、熊野神社の神輿小屋の山車には、昭和30年大清会（大和会・清和会を略して大清会）と記してあり10月の熊野神社の祭礼には大勢の子供たちが町内を渡御しています。又幼いころに遊んだ広場には大型マンションが建ちならび地域は狭くなってきているので、会員世帯数は昭和50年頃に比べ

ると4割減少しています。現在の会員世帯数は戸建て83世帯、法人7社、会長、副会長を含め役員13名と、組数13組班長13名（二年交代）の役員で組織されています。

年間事業活動

- 1、防災訓練・三自治会合同（清和会・大和会・一童会）
- 2、親睦旅行（1年おき）
- 3、寒餅つき大会
- 4、新年会

年間活動と地域行事活動

年間活動としては1月から12月の年間を通して毎月末に役員で防犯活動として地域内をパトロールしています。昨年は、自主防犯活動で埼玉県知

事より感謝状を頂きました。

ゴミゼロ運動では多数の参加者があり終了後にはお茶を飲みながら懇談しています。

白子に氏神様として鎮座している熊野神社の氏子自治会として、境内の清掃活動、5月のつつじ祭り、10月の熊野神社の祭礼、12月の熊手市には全面的に協力しています。「隣のおじいちゃんとおばちゃんは元気かな、最近見掛けないけど大丈夫かな。ちよっと見に行ってみよう」
こんな小さな思いやり、震災が来ても皆で助け合おう気持ちで隣近所の絆を強く、安心、安全の自治会を目指していきます。